

■各事業所における環境目標と実績評価

●工場の 2015 年度環境目標の達成状況

太田工場と新内工場、鑄造工場で原単位当たりのエネルギーが増加し、全体としても対前年比で 10%増加しました。太田工場で増加した理由は、環境に優しいエンジンの開発などによる実験機の耐久試験などで使用したエネルギー（生産出力に寄与しないエネルギー）

が、生産出力に寄与するエネルギーに比べ多く消費されたためです。また、新内工場と鑄造工場で増加した理由は、生産出力や生産重量の減少に比べ電力消費量の減少が少なかったためです。全体として生産量の落ち込みが大きく影響しました。

😊 目標達成 ☹ 目標未達成

工場部門	太田工場	新内工場	ガスタービン工場	鑄造工場	ニコ精密機器	全体
達成の評価	☹	☹	😊	☹	😊	☹
2014 年度	0.544/ 百kW	1.317kl/ 百kW	1.517kl/ 百kW	0.479kl/ton	0.264kl/ 百万円	対前年比 98%
2015 年度	0.665kl/ 百kW	1.631kl/ 百kW	1.181kl/ 百kW	0.619kl/ton	0.240kl/ 百万円	対前年比 110%
削減率	22%増加	24%増加	22%削減	29%増加	9%削減	10%増加

エネルギー使用量は原油に換算した使用量（kl）で表しています。

工場部門の原単位当たりのエネルギーは、太田工場、新内工場、ガスタービン工場では生産出力百kW当たりのエネルギー、鑄造工場では生産重量 ton 当たりのエネルギー、ニコ精密機器では製品出荷額百万円当たりのエネルギーで表しています。

全体の対前年度比は、エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度の合計値で表しています。
(省エネ法 定期報告書 様式第 9 (第 17 条関係) 特定-第 3 表 備考 3 による)

●事務所部門の 2015 年度環境目標の達成状況

本社・支店では、目標達成を目指して電力管理図を作成し、室内温度の適正化等の努力をしています。2015 年度は東北支店で大幅に電気使用量が減少しました。

また、本社ではサーバー設置により電気使用量が増加しました。全体として本社のサーバー設置が大きく影響しました。

■ 環境目標 = 電気使用量の前年度 1% 削減

😊 目標達成 ☹ 目標未達成

事務所部門	本社	北海道	東北	名古屋	大阪	九州 西日本	全体
達成の評価	☹	😊	😊	☹	😊	☹	☹
2014 年度 MWh	551.7	20.0	32.7	36.6	91.9	64.1	796.9
2015 年度 MWh	619.9	19.4	15.5	40.0	87.0	66.3	848.0
削減率	12%増加	3%削減	53%削減	10%増加	5%削減	4%増加	6%増加

新潟支店は新潟内燃機工場の集計に含まれるため除外しています。